

AM/FM
液晶ハンディラジオ
RAD-P525S-S



本製品には液晶部分に保護シールが付いていますので、剥がしてから使用してください。



※ステレオイヤホン使用時

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。また、この取扱説明書は、いつでも見られるように大切に保管してください。

(キリトリ線)

保証書

持込修理

商品名	AM/FM 液晶ハンディラジオ	★お買い上げ日 年 月 日
型番	RAD-P525S-S	保証期間：本体1年間 (お買い上げの日から)
品番	03-0586	
お客様	ふりがな ★お名前	様
	★ご住所	〒 - - 電話 ()
修理メモ		
販売店	★住所 店名 電話	
	(印)	

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●電話受付 0120-963-006 ●FAX 048-992-2735
●メール受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による事故につながる可能性があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 絶対に本体の分解、改造、修理を行なわない。火災、感電、けがの原因となります。
- 乾電池は充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 屋外使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
- 車、バイクの運転中は、イヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。

主な仕様

受信周波数	AM 522-1620 kHz FM 76-108 MHz
メモリー	FM/AM 各20局(合計40局)
電源	DC3V 単3形乾電池×2本(別売)
スピーカー	口径50mm丸型(8Ω) 実用最大出力150mW
電池持続時間	※1 イヤホン使用時 AM受信 約100時間 / FM受信 約100時間 スピーカー使用時 AM受信 約80時間 / FM受信 約80時間
外形寸法	(約)幅68×高さ118×奥行25mm(突起物含まず)
質量	約111g(乾電池含まず)
付属品	両耳イヤホン(インピーダンス32Ω、長さ約1.1m)、 ハンドストラップ、保証書付取扱説明書

※1 新品アルカリ乾電池使用。JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値
※仕様および外観などは改良のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いとき、販売店または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間が過ぎても、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきますので、販売店または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

- イヤホン使用時、耳に負担をかける大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。
- 電池はプラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより、火災、けが、周囲汚損の原因となります。

《本体のお手入れの仕方》

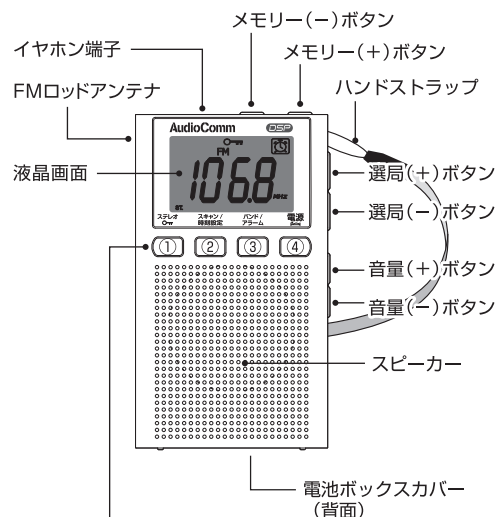
柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためるおそれがありますので使用しないでください。

故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

各部の名称

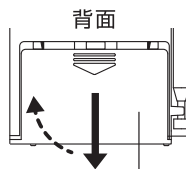


- ① FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン
- ② スキャン/時刻設定ボタン
- ③ バンド/アラームボタン
- ④ 電源/スリープボタン

電源について

乾電池の入れ方

① 本体背面の電池ボックスカバーの▽の刻印部分を、矢印方向に押し下げて、はね上げます。(右図参照)



② 電池ボックスに単3形乾電池2本(別売)をプラス⊕、マイナス⊖の向きに注意して正しく入れてください。(右図参照)
※乾電池はマイナス⊖側から先にに入れてください。



③ 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めてください。

※電池を外すと、設定していた時計、アラームがリセットされ、音量は「20」に戻ります。電池交換時などは再度設定し直してください。
※本機はアルカリ乾電池の使用をおすすめします。マンガン乾電池、充電式乾電池は使用可能時間が短くなります。

電源についてのご注意

初めてご使用になる場合、乾電池を入れてから可動状態になるまで約5~6秒ほど要することがあります。可動状態になると液晶画面の表示が現れます。その後各操作を行ってください。
可動状態になるまで液晶画面には何も表示されませんが、故障ではありません。

ラジオの使い方

- ① 『電源/スリープボタン』を押して電源を入れます。液晶画面が時刻表示→『ON』表示→周波数表示になります。
- ② 『音量(-)ボタン』または『音量(+)ボタン』を押して音量を調節します。(VOL.00~38)
- ③ 『バンド/アラームボタン』を押して、お聴きになるバンドを選びます。同ボタンを押すごとにAM⇄FMに切り替わります。
- ④ 『選局(+/-)ボタン』または『選局(-)ボタン』を押して、お聴きになる放送局に合わせます。同ボタンを約2秒長押しすると自動選局となり、電波の強い放送局を自動検知して止まります。
※AMは9kHz、FMは0.1MHzステップで周波数が増減します。



⑤ 電源を切るときは『電源/スリープボタン』を押します。液晶画面が『OFF』表示→時刻表示になります。



受信について

■AM放送を聴くとき

本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聴くとき

『FM ロッドアンテナ』を伸ばし、一番良く受信できる方角に向けてください。また、本機はFMステレオ⇄モノラル切り替え機能付きです。FM放送受信中に『FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン』を押すごとにFMステレオ⇄モノラルに切り替わります。電波が弱い時は、聴き取りやすいモノラル受信に切り替えてお使いください。



■電車や建物の中で聴くときは

電波状態が悪い所では受信できないことがあります。本体をできるだけ窓に近づけてお使いください。

■音声について

- AMはモノラル音声、FMはステレオ音声（モノラル切り替え機能付き）です。
- 本機はTV放送の音声は受信できません。

本機はFM周波数帯域が76～108MHzであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.0～99.0MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

時刻設定のしかた

- ①電源が切れている状態で『スキャン/時刻設定ボタン』を押します。液晶画面に『12Hr』または『24Hr』表示が点滅します。
- ②『選局(+)ボタン』または『選局(-)ボタン』を押して12時間表示または24時間表示を選び、『スキャン/時刻設定ボタン』を押して決定します。※12時間表示の場合、液晶画面表示は、午前は表示無し、午後は『PM』と表示されます。
- ③液晶画面に『時』表示が点滅します。『選局(+)ボタン』または『選局(-)ボタン』を押して『時』を選択し、『スキャン/時刻設定ボタン』を押して決定します。
- ④液晶画面に『分』表示が点滅します。『選局(+)ボタン』または『選局(-)ボタン』を押して『分』を選択し、『スキャン/時刻設定ボタン』を押して決定します。

※何も操作しない時間が約10秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。

付属のステレオイヤホンのご使用について

『イヤホン端子』に付属のステレオイヤホンのプラグを接続してご使用ください（接続時は音量を下げ、耳に負担のない音量に徐々にあげてください）。※イヤホン接続時はスピーカーから音は鳴りません。

便利な機能について

■液晶バックライト

各ボタンを押すごとに液晶が約5～7秒点灯します。（電源が切れた状態でも機能します。）暗い場所などで便利です。

■誤操作防止ロック機能

『FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン』を約2秒長押しすると、液晶画面に『ロックアイコン』が点滅し、すべての操作がロックされ、誤操作を防止します。ロックを解除するには、同ボタンを再度約2秒長押しします。ロックアイコンが消え、ロックが解除されます。



アラームとスリープタイマーについて

■アラームの使い方

- ①電源が切れている状態で『バンド/アラームボタン』を押します。液晶画面に『』が表示されます。
- ②『スキャン/時刻設定ボタン』を押すと、液晶画面の『』と『時』表示が点滅します。『時刻設定のしかた』項目③～④の手順でアラーム時刻を設定します。
- ③液晶画面に『rAd（ラジオ）』または『buZ（ブザー）』が表示されます。『選局(+)ボタン』または『選局(-)ボタン』を押してアラームの種類を選び、『スキャン/時刻設定ボタン』を押して決定します。

ラジオを設定する場合は、『ラジオの使い方』の手順で、あらかじめご希望の放送局を選択しておいてください。（ラジオアラームは音量VOL.38に自動設定されます。）

- ④設定時刻にアラームが鳴ります（約5分間）。アラームを切るときは『電源/スリープボタン』を押します。（アラーム設定は保存されます。）

アラームアイコン表示



アラームアイコンと時点滅



ラジオアラーム表示



ブザーアラーム表示



アラームを切った後もアラームアイコン表示



プリセットメモリーの使い方

■手動で選局して登録する場合

- ①『ラジオの使い方』項目①～④までの手順で選局します。
- ②『スキャン/時刻設定ボタン』を押すと、液晶画面にプリセット登録番号が約10秒点滅します。点滅中に『メモリー(+)'ボタン』または『メモリー(-)'ボタン』を押して、設定する任意のプリセット登録番号(0～19)を選びます。
- ③再度『スキャン/時刻設定ボタン』を押すと、設定したプリセット登録番号に登録されます。
- ④同じ手順でAM/FM各20局までメモリー登録可能です。



■自動で選局して登録する場合(ATS)

- ①『ラジオの使い方』項目①～④までの手順でAMかFMを選択します。
- ②『スキャン/時刻設定ボタン』を約2秒長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を自動で選局・登録します。(AM/FM各20局まで)



※ATS(オートチューニングストレージ)を使用してプリセット登録をすると、以前のプリセットメモリーは上書き消去されますのでご注意ください。

■プリセット登録した放送局の聴き方

- ①『ラジオの使い方』項目①～④までの手順でAMかFMを選択します。
- ②『メモリー(+)'ボタン』または『メモリー(-)'ボタン』を押して、お聴きになる放送局が登録されたプリセット登録番号を選んでください。



----- (キリトリ線) -----

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提供がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売名シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。